



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 日新商事株式会社

コード番号 7490 URL <http://www.nissin-shoji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 筒井 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 走尾 一隆

TEL 03-3457-6251

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	16,898	4.4	△172	—	△96	—	△66	—
25年3月期第1四半期	16,189	3.6	65	145.3	153	80.8	79	128.6

(注)包括利益 26年3月期第1四半期 △32百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △77百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△9.93	—
25年3月期第1四半期	11.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	24,601	16,189	65.8	2,406.77
25年3月期	24,991	16,282	65.2	2,420.55

(参考)自己資本 26年3月期第1四半期 16,189百万円 25年3月期 16,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,000	8.9	△110	—	△20	—	△60	—	△8.92
通期	74,000	8.0	270	70.9	430	15.3	210	58.6	31.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	7,600,000 株	25年3月期	7,600,000 株
26年3月期1Q	873,392 株	25年3月期	873,392 株
26年3月期1Q	6,726,608 株	25年3月期1Q	6,726,608 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、金融政策の効果や円安等の輸出環境の改善を背景として、全体的な景況感に改善が見られました。しかしながら、その波及効果は限定的であり、また、海外経済の景気下振れリスクも懸念され、引き続き不透明な状況で推移いたしました。

石油製品販売業界におきまして、国内石油製品需要は、ガソリン、灯油及び軽油で前年を上回りましたが、電力用C重油の需要が急減したこと等により、燃料油全体で前年を下回りました。国内石油製品価格は、円安の影響を受け、前年よりも高い水準となりました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、石油関連事業におきまして、直営部門でガソリンの販売数量が増加したことや直需部門で納入先発電所の需要が増加しC重油の販売数量が堅調に推移したことなどにより、売上高は16,898,175千円、前年同期比4.4%の増収となりました。しかしながら、直営部門で市況の悪化に伴いガソリンの-marginが十分に確保できず売上総利益が減少したことなどにより、営業損失は172,394千円（前年同期は営業利益65,315千円）、経常損失は96,093千円（前年同期は経常利益153,550千円）となりました。四半期純損失につきましては、66,772千円（前年同期は四半期純利益79,677千円）となりました。

セグメント別及び部門別の状況は次の通りであります。

<石油関連事業>

(直営部門)

直営部門につきましては、カーコーティング洗車、車検等のカーメンテ商品拡販に注力いたしました。また、受入体制強化の継続、SS（サービステーション）の運営承継やセルフ化を実施し、ガソリンの販売数量が増加したことなどにより、売上高は5,866,534千円、前年同期比7.6%の増収となりました。しかしながら、市況の悪化に伴いガソリンの-marginが十分に確保できず、非常に厳しい収益状況となりました。

(卸部門)

卸部門につきましては、消防法改正に伴う地下貯蔵タンク規制強化の影響などで一部販売店の運営するSSが閉鎖したことにより、燃料油の販売数量が減少いたしました。その結果、売上高は2,900,573千円、前年同期比6.0%の減収となりました。

(直需部門)

直需部門につきましては、法人需要家向け燃料油カード発券の営業活動を強化し、ガソリンと軽油の販売数量が増加いたしました。また、火力発電所向けC重油の販売数量が増加したことなどにより、売上高は6,079,135千円、前年同期比6.4%の増収となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門につきましては、石油化学製品は、原料樹脂の需要が伸び悩む中、加工製品等の増販や農業資材の取扱開始により、売上高が増加いたしました。また、ペットボトル飲料は、コンビニエンスストア向け商品の販売が堅調に推移し、売上高が増加いたしました。その結果、売上高は1,204,040千円、前年同期比13.2%の増収となりました。

(その他部門)

その他部門につきましては、液化石油ガス販売は、前年に比べ販売数量が減少したことなどにより、売上高は488,667千円、前年同期比1.5%の減収となりました。

<外食事業>

外食事業につきましては、ケンタッキーフライドチキン店は、店舗周辺環境の変化に伴い来客数が減少したことなどにより、売上高が減少いたしました。一方で、タリーズコーヒー店は、前年同期並みの売上を維持いたしました。その結果、売上高は228,792千円、前年同期比6.9%の減収となりました。

<不動産事業>

不動産事業につきましては、賃貸マンションの稼働率は堅調に推移いたしました。また、ベイフロント横浜及び一部店舗の賃料改定などにより、売上高は130,432千円、前年同期比3.9%の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ、390,324千円減少し、24,601,026千円となりました。これは、現金及び預金が292,039千円、有形固定資産が61,928千円、商品及び製品が56,699千円、投資有価証券及び関係会社株式が41,921千円増加したものの、受取手形及び売掛金が995,680千円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ、297,638千円減少し、8,411,640千円となりました。これは、借入金が257,500千円、社債が360,000千円増加したものの、支払手形及び買掛金が817,786千円、賞与引当金が89,227千円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ、92,686千円減少し、16,189,385千円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が25,525千円増加したものの、利益剰余金が127,312千円減少したことによるものです。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末と比べ13.78円減少し、2,406.77円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年8月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,163,832	1,455,871
受取手形及び売掛金	9,859,632	8,863,952
商品及び製品	601,692	658,391
その他	269,306	435,984
貸倒引当金	△8,740	△6,409
流動資産合計	11,885,723	11,407,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,790,575	2,752,462
土地	5,384,137	5,384,137
その他(純額)	302,255	402,297
有形固定資産合計	8,476,968	8,538,897
無形固定資産		
250,986		244,355
投資その他の資産		
投資有価証券	2,843,837	2,947,274
関係会社株式	960,616	899,101
その他	637,467	631,354
貸倒引当金	△64,249	△67,749
投資その他の資産合計	4,377,672	4,409,981
固定資産合計	13,105,627	13,193,234
資産合計	24,991,350	24,601,026
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,088,822	3,271,035
短期借入金	605,000	575,000
未払金	596,121	556,181
未払法人税等	57,088	11,822
賞与引当金	198,422	109,194
役員賞与引当金	6,500	3,900
固定資産撤去費用引当金	—	7,400
資産除去債務	12,509	12,556
その他	503,828	584,190
流動負債合計	6,068,293	5,131,280
固定負債		
社債	680,000	1,040,000
長期借入金	297,500	585,000
退職給付引当金	916,255	917,402
役員退職慰労引当金	36,403	36,403
資産除去債務	66,613	66,877
その他	644,213	634,676
固定負債合計	2,640,985	3,280,359
負債合計	8,709,278	8,411,640

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,624,000	3,624,000
資本剰余金	3,281,625	3,281,625
利益剰余金	9,377,041	9,249,728
自己株式	△643,357	△643,357
株主資本合計	15,639,308	15,511,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	648,479	674,004
為替換算調整勘定	△5,716	3,384
その他の包括利益累計額合計	642,763	677,389
純資産合計	16,282,072	16,189,385
負債純資産合計	24,991,350	24,601,026

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	16,189,109	16,898,175
売上原価	14,580,510	15,485,380
売上総利益	1,608,598	1,412,795
販売費及び一般管理費	1,543,282	1,585,189
営業利益又は営業損失(△)	65,315	△172,394
営業外収益		
受取利息	1,090	964
受取配当金	42,365	52,809
持分法による投資利益	3,349	3,962
その他	53,645	32,311
営業外収益合計	100,450	90,048
営業外費用		
支払利息	7,469	6,063
社債発行費	—	5,312
その他	4,747	2,371
営業外費用合計	12,216	13,747
経常利益又は経常損失(△)	153,550	△96,093
特別損失		
固定資産除却損	1,124	—
固定資産撤去費用引当金繰入額	—	7,400
特別損失合計	1,124	7,400
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	152,425	△103,493
法人税、住民税及び事業税	10,457	9,766
法人税等調整額	62,291	△46,487
法人税等合計	72,748	△36,720
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	79,677	△66,772
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,677	△66,772

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	79,677	△66,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△165,455	25,281
為替換算調整勘定	9,499	9,100
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,001	243
その他の包括利益合計	△156,957	34,626
四半期包括利益	△77,280	△32,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△77,280	△32,146
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,807,646	245,716	135,745	16,189,109	—	16,189,109
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	13,640	13,640	△13,640	—
計	15,807,646	245,716	149,386	16,202,750	△13,640	16,189,109
セグメント利益又は損失(△)	109,283	△19,422	84,889	174,750	△109,434	65,315

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△109,434千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,538,950	228,792	130,432	16,898,175	—	16,898,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	15,096	15,096	△15,096	—
計	16,538,950	228,792	145,528	16,913,271	△15,096	16,898,175
セグメント利益又は損失(△)	△106,880	△22,772	81,424	△48,227	△124,166	△172,394

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△124,166千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。